

9月度 <b>例会</b> <b>個人</b> <b>山行報告書</b>		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	CL; 渡辺勝利 M; 育子
		報告日	10/8		
山域	北ア 南部	山行日	07年 09月 29日(土)		
山名	御岳				

山行目的	ファミリー秋山登山	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-----------	------------------

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図 :

9/28 曇り 18:30 豊田発 22:00 道の駅「花桃」 車中泊	13:20 お助け水 35
9/29 雨のち曇り 04:50 起床 06:00 出発	14:00 覗き岩避難小屋 14:40 湯の花峠 15:45 登山口着 旅館「御岳」に宿泊し 翌日帰豊
06:50 濁河温泉登山口 07:05 出発	
08:15 湯の花峠	
09:35 お助け水(8合目) 55	
11:25 飛驒頂上 12:10 周囲散策	
往路を下山	

山行報告 喧騒の夏山シーズンが終わり、紅葉には早すぎるこの時期が初秋の静かな山歩きの後、温泉に浸かってのんびり語らう絶好の機会と企画したが期待にたがわず、まるで貸切状態の静かな御岳を満喫でき実に楽しい山行となった。

豊田を前夜発、中央道の中津川ICで降り、加子母、下呂、飛驒小坂経由で道の駅「花桃」へは割合早く着くことができた。数台の車が止まっているひっそりとした駐車場で車中泊。夜中に隣に止まったトラックのエンジン音に起こされ、車を移動するというハプニングがあったもののどうにか無事に朝を迎え、朝食後小雨の中を濁河温泉目指して出発。すぐに鈴蘭高原への分岐を過ぎ、九十九折の舗装道路をしばらく走ると漸く濁河温泉の看板が見えてくる。そのまま車を走らせ、市営駐車場に着くころには雨も本降り状態になってきた。今日の天候は曇りの予想だったが、どうやら半日ずれているようだが、これ以上の崩れはないと判断し、早速、雨具を着け傘を差して出発。ルートは広く良く整備されている。吊橋を渡りいよいよ本格的な登りとなるが、しっかりした木道が延々と続く様は圧巻でよくこれだけ手の込んだ登山道を作ったものだと感心するくらいの「いい仕事」ぶりである。湯の花峠付近で雨も上がり、視界も開けるようになってきた。木道の後にはしっかりした石畳の道となり、覗き岩避難小屋を過ぎ、色づきはじめて七かまどの赤い実や白玉の木、コケモモなど道端の花々を楽しみながら歩いているうちにお助け水に着く。名前に水とあるものの水場は全くないちょっとした展望台である。このあたりが森林限界となりここから上部は這い松帯、さらに岩稜帯となり岩ツメ草や枯れたこまくさ群生地などを横目に山腹をトラバースして行くと飛驒頂上はすぐそこだった。しかしこれ以上の前進は無理と判断し周囲を散策した後、同ルートを下山。

リーダー所見 御岳の飛驒側からのルートは初めてであったが、ルートはよく整備されており比較的楽に登れるルートである。又、見晴らしも良く、五の池小屋の缶ビールは@500円でこの夏一番のお買い得の上、トイレもきれいですっかり気に入ったルートとなった。もちろん付き合ってくれた相棒は濁河温泉の文字通り茶褐色のお湯と山の幸のお宿が大層気にいってくれたようだった。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

初秋の御岳三ノ池付近

確認  
(リーダー)  
**渡**  
07/10/08  
**辺**  
(報告者)